

福岡県労連

KENZENROREN

2025
6月号
No.221

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検 索



〔定価〕
1部10円



劇団風の子労組のアピール



うちわやフラッグでアピールするデモ隊

第96回 福岡県中央統一メーデー

伝統と革新のメーデー

2025年5月1日、福岡市天神警固公園で第96回福岡県中央統一メーデー集会を開催しました。前回第95回メーデーでは「5月1日という日は歴史的に意味があり、その歴史を受け継ぎ労働者が声をあげてアピールすることが大切」というメーデーの根本的意義と、一方で「仕事を休んで来ている方も多く年々参加が難しくなっている中で、楽しめる内容にして新しい参加者を増やしていくことが必要」という2つの意見で侃侃諤諤の議論を行い、いくつかの行事的な内容を減らして、新しいチャレンジを行いました。



メーデー宣言を読み上げる福建労・森部さん



色とりどりの旗が並ぶ会場

福岡県中央統一メーデー

チャレンジ企画からスタート

今年の第96回メーデーでは、昨年おこなったチャレンジを根付かせて、25春闘の賃上げの成果をさらにひろげていくことを基本方針として、実行委員会で議論を行い、準備をすすめて、当日を迎えました。

司会の掛け声で開会すると、最初は新たなチャレンジである「参加型のオープニング企画（〇×クイズ大会）」で盛り上がりしました。次に三

苦実行委員長より、「物価高騰の中で生活はますます苦しくなり、人手不足により労働者は疲弊している。労働組合がなければ、私たちの命さえも危ないような賃金・労働条件。そのような時代にあつて労働組合が必要とされている。労働組合が労働者の要求に応じて強く大きく立ち

ていかないとけない。本日のメーデーで団結を高めあいましよう」との挨拶がありました。

来賓あいさつでは、日本共産党の参議院選挙区予定候補の山口ゆうとさん、れいわ新選組政策委員長の奥田ふみよさんから連帯の言葉が述べられました。

テーマ別の特別報告では、「いのち」のテーマで、福岡第二法律事務所

の星野圭先生より「生活保護引き下げ違憲訴訟」の福岡高裁での逆転勝訴判決とその背景にある「いかに貧困」の活動について報告をいただきました。次に「平和」をテーマに福岡県平和委員会代表理事の井下顕先生より「無関心が戦争をひきよせること、労働組合が平和運動に関わる意義」についてお話がありました。

社会を動かすアピールが集結

第2部は「社会を動かす言葉をつくる」をコンセプトにメーデーアピールコンテストを開催しました。5組の労働組合がエントリーして、プラ

カードや様々な装飾で彩ったグッズを使って切実な要求をアピールしました。最優秀賞は各病棟職場の要求を書いた布を張り合わせたタペストリーを作った医療団労働組合でした。

集会後は500名の参加者と共に警固公園から天神パルコ前までのデモ行進を行い、賃金引上げ・ジェンダー平等・労働条件改善などを訴えました。



優秀賞をとった医療団労組のタペストリー

大牟田地区メーデー



団結頑張ろう

筑後地区メーデー



デコプラ展の様子

筑豊地区メーデー



玖村実行委員長の挨拶

東部地区メーデー



挨拶する古賀市長

すべての労働者の生活改善を

北九州地区では、北九州市立男女共同参画センター（ムーブ）にて第96回北九州統一メーデーが開催されました。初の屋内開催でしたが、65団体500名の参加があり、連帯を深めました。オープニングはうたごえで始まり、続く開会あいさつでは全教北九州の中川副実行委員長より「多くの教員が過労死ラインを超える長時間労働を強いられている。自公政権は調整額引上げを検討しているが、そんなことでは長時間過密労働は解消されない。教員志望も減っている状況は改善されない。働く者の連帯の力で変えていきたい」と力強い訴えがありました。

その後は、主催者挨拶と争議団共闘からの訴えと続き、課題別報告では学職労より会計年度の不安定雇用問題について、健和会労組より公定価格のマイナス改定や人員不足により医療介護が破壊されている実態について、市職労からは窓口委託化やデジタル化がサービス低下を招き市民の生活を守れなくなっていると訴えがありました。

集会後の旦過市場までのデモ行進で、「物価上昇を上回る賃上げを」「能登被災地の復興を国の責任で」「最賃1700円実現を」「消費税を下げてくらしを守れ」「軍拡やめてくらしに予算を」など元気にシュプレヒコールしました。



VOICE

5月17日にウエルとばたで開催された「さよなら原発集会」学習会に参加した。講師はジャーナリストの青木美希さん。原発に関する報道の姿勢について疑問を持ちフリーになって取材を続けているという。福岡第一原発は今でも被爆レベルの放射線量だが、マスコミは報道しない。福島では除染した地域でも事故前の10倍の線量、それで本当に帰れるのか。東日本大震災から14年経つのに2.8万人が避難している。帰還困難地域700世帯への支援打ち切りが閣議決定している。支援法は機能していない。世論も将来的に原発廃止が5割なのにエネルギー基本計画は原発を最大限活用としている。▼「なぜ原発をなくせないのか」について東海村の前村長に聞いたところ、こう語っていた。「地方自治とは住民が自分たちの地域をつくること。でも実情はただ金があればいい、就職口があればいいという次元にどまっている。それでは原発を止めることはできない。『和』は権力者にとって一番都合の良い言葉。異を唱えて議論をする、そういう社会が良い。異を唱えて原発をなくす運動をひろげましよう」と話を締めた。（な）



真剣に聴講する満員の参加者

「外交の最大の役割は戦争が起きない環境を最大限整備すること。一つは各国間の信頼醸成である。もう一つは各国間の相互依存である。外交を行う主体は政府間（トラック1）が典型的だが、議員・自治体等（トラック2）、そして市民社会や経済界も声を上げていくこと（トラック3）」という多層外交が必要である」

● 猿田佐世さん
「外交の最大の役割は戦争が起きない環境を最大限整備すること。一つは各国間の信頼醸成である。もう一つは各国間の相互依存である。外交を行う主体は政府間（トラック1）が典型的だが、議員・自治体等（トラック2）、そして市民社会や経済界も声を上げていくこと（トラック3）」という多層外交が必要である」



寄って来る島のウサギ

島は地図から消

今回は、ウサギの島で人気の広島県竹原市大久野島を訪れました。第一次世界大戦の反省から毒ガス兵器禁止条約ができ、日本も調印したのですが、秘密裏に毒ガス兵器を開発するために1917年から技術研究が始まり1929年に大久野島に毒ガス製造所がつくられました。秘密を守るために大久野島は地図から消

戦跡取材記 第二弾 広島県竹原市大久野島

特集4

毒ガス資料館を目指すと5分ほどで防空壕跡がありました。そのすぐ近くに資料館があり、手前には陶器製の毒ガス製造機が。15年で6616トンの毒ガスを製造し、戦後約3000トン残った毒ガスは処理されたそうです。資料館には、工場で働いて被害を受けた人の写真が。皮膚炎や



大久野島 毒ガス資料館

毒ガスの怖さを戦争の悲惨さを知る島であったことに平和への願いを強く感じました。一周90分ほどで回れます。みなさんも是非訪れてください。

ウサギは、実験動物として飼われました。忠海港の切符売り場は、ウサギのイラストや大きな写真が飾られていました。フェリーに乗り15分ほどで島につくと次々にウサギが寄ってきて、エサをねだられます。

毒ガス資料館を目指すと5分ほどで防空壕跡がありました。そのすぐ近くに資料館があり、手前には陶器製の毒ガス製造機が。15年で6616トンの毒ガスを製造し、戦後約3000トン残った毒ガスは処理されたそうです。資料館には、工場で働いて被害を受けた人の写真が。皮膚炎や

肺炎、目に障害を受けたのに治療法はなかったとは、労働者を使い捨てにして本当にひどい。資料館の先には、研究所と検査室が残っていました。そこから5分ほど進

その先の休暇村を通り過ぎると毒ガスの貯蔵庫跡。内部が黒く焼けこげているのは、火災で、北部だけでなく中部・南部にもあります。

それから、フェリー乗り場に向かうと大きな建物があります。毒ガス工場のための発電所です。そして1100人もの13歳から15歳の子どもも動員され、防空壕を掘り、毒ガスを運ぶなど危険な作業をやらされたそうです。

「戦争を回避する方法として抑止論が持ち出されるが、カーネギーは、抑止は軍拡を、同盟は戦争を誘うと言っていた。抑止は戦争回避方法にはならない」

● 志位和夫さん
「猿田さんが言うように対話によって信頼醸成はつくられる。北東アジアは対話を欠いている。東南アジアは対話により中国にもアメリカにもどちらにもつかないという合意をつくりだしている。朝鮮半島の非核化については焦らないこと、米韓の大規模軍事演習による軍事的緊張の悪循環を止めるための対話のルートを開くことが大切」

ウサギは、実験動物として飼われました。忠海港の切符売り場は、ウサギのイラストや大きな写真が飾られていました。フェリーに乗り15分ほどで島につくと次々にウサギが寄ってきて、エサをねだられます。

毒ガス資料館を目指すと5分ほどで防空壕跡がありました。そのすぐ近くに資料館があり、手前には陶器製の毒ガス製造機が。15年で6616トンの毒ガスを製造し、戦後約3000トン残った毒ガスは処理されたそうです。資料館には、工場で働いて被害を受けた人の写真が。皮膚炎や

その先の休暇村を通り過ぎると毒ガスの貯蔵庫跡。内部が黒く焼けこげているのは、火災で、北部だけでなく中部・南部にもあります。

それから、フェリー乗り場に向かうと大きな建物があります。毒ガス工場のための発電所です。そして1100人もの13歳から15歳の子どもも動員され、防空壕を掘り、毒ガスを運ぶなど危険な作業をやらされたそうです。

戦後・被ばく80年特集

時を超えて紡ぐ平和の思い

特集3

5・17シンポジウム 「東アジアでの平和の準備をin福岡」

500名を超える参加で「平和外交」の展望に確信！

（福岡県革新懇ニュース第280号より）

戦後80年、日本でも世界でも今日ほど「戦争と平和」の問題が切実に語られることは、かつてなかったと思います。今日の状況は二歩間違えば日本も破局的な戦争に巻き込まれる恐れがあります。トランプ政権の下で、日本政府はアメリカに追随して軍備拡張と戦争準備を急速に強めています。この身近に迫る戦争をどのようにして防いだらいいのか、今私たちは突き

詰めた議論を市民の間で進めていく必要があります。福岡県革新懇は九州・沖縄で進められている軍備強化が戦争勃発の危険性をより現実のものとするようになるとの認識の下、この危険性を回避するため平和外交によって中国や北朝鮮など東アジアの緊張を緩和し、平和的共存の枠組みを築いていく道を求めて、このシンポジウムを全国革新懇と共催で開催しました。

● 仲山忠克さん
「先島には陸自の基地が新設され、中国本土を直接攻撃できる長射程ミサイルも配備され、中国包囲網の要、対中国戦争の最前線になつていく。先島からの避難計画は、住民を守ると言いながら導入された自衛隊が、住民を島から追い出す事態を作っている。そもそも台湾有事の現実性の検証はされているのか。政府の扇動に踊らされることなく、台湾有事を起させないための外交努力が重要である」

ウサギは、実験動物として飼われました。忠海港の切符売り場は、ウサギのイラストや大きな写真が飾られていました。フェリーに乗り15分ほどで島につくと次々にウサギが寄ってきて、エサをねだられます。

毒ガス資料館を目指すと5分ほどで防空壕跡がありました。そのすぐ近くに資料館があり、手前には陶器製の毒ガス製造機が。15年で6616トンの毒ガスを製造し、戦後約3000トン残った毒ガスは処理されたそうです。資料館には、工場で働いて被害を受けた人の写真が。皮膚炎や

その先の休暇村を通り過ぎると毒ガスの貯蔵庫跡。内部が黒く焼けこげているのは、火災で、北部だけでなく中部・南部にもあります。

それから、フェリー乗り場に向かうと大きな建物があります。毒ガス工場のための発電所です。そして1100人もの13歳から15歳の子どもも動員され、防空壕を掘り、毒ガスを運ぶなど危険な作業をやらされたそうです。

おもいをつなげる・思いを届ける



福岡県労連 80千羽鶴アクション

被爆から80年の夏を迎えようとしています。被爆者の思いをつなげ、平和の願いをこめて被爆地に折り鶴を届けましょう！

- Action1 願いを込めて折り鶴を折ろう！
- Action2 写真に撮って投稿しよう！

詳しくはこちら

